



平成30年3月議会から

《防災フェスタを利用した日常生活の防災対策強化について》

「防災フェスタ」は東日本大震災を風化させることなく、被害にあわれた方々への追悼と、市民の防災意識の向上を図るため、平成25年から都立東大和南公園と共催で行い、多くの市民に参加いただいています。



内容は市内一斉非難訓練、各種展示や体験コーナー、自衛隊によるカレーや豚汁の炊き出し、非常食の試食などと多彩ですが、内容の固定化傾向が課題であります。



これまでも、「女性の視点をいかした防災対策について」議会でも取り上げ、避難所にプライバシーを守る間仕切りの備蓄、災害時のトイレとして市内15の全小中学校にマンホールトイレを設置してきました。

しかしながら、東日本大震災から7年、熊本地震から2年が経ち、実際に被災されて方が体験を通して訴えているのは、出来るだけ自宅で避難できる防災対策の必要性です。たとえ、電気・ガス・水道などのライフラインが途絶えてとしても、3日間は自宅で避難できる備えを、日常生活に密着した形で防災対策を整えることが大切です。



「防災フェスタ」を利用し自宅避難を啓発する取組みを推進してほしいと訴えました。

例えば、家具の転倒防止の方法。(東大和市では以前から高齢者世帯対象に転倒防止器具の配布と設置を行ってきており、既に3543世帯に設置。)水や食料品の賢い備蓄方法、安全確保のための家の中の片づけ方、外出時の持ち物など、市民の皆様が具体的に取り組めるような情報の提供を要望しました。

《市庁舎の安全性・利便性・市民サービスの向上について》

東大和市の市庁舎は平成28年度耐震補強工事が終了。偶然にも熊本地震発災時と重なり話題となりました。躯体の耐震化がされた市庁舎内ですが、その他の安全性や、業務内容の変化による利便性、また市民サービスの更なる向上のためのレイアウトなどについて、市としてどのような考えをもって取り組んでいるか、質問致しました。



質問にあたり、会派で神奈川県海老名市を視察。海老名市では、人口増による窓口業務改善の必要性から、総合窓口化を行うため、民間3社の協力を得て、3年間かけてシステム開発から着手し、リニューアルに取り組んだことがわかりました。東大和市でも、まずは庁内での課題の整理し、マイナンバーカードの利用やICT化による変化など将来を見越した検討を行い、より快適な市庁舎の活用を要望しました。



100万人訪問・調査運動

公明党議員が現場の声を聞き、政策立案に生かしていく4つのテーマ

「子育て」「介護」「防災・減災」「中小企業」についてアンケート運動を実施しています。





公明党が提案した女性視点の防災ブックが完成

東京くらし防災

—わたしの「いつも」がいのちを救う—

平成 30 年 3 月 1 日から都内 9,000 カ所で無料配布

・市役所防災課窓口・市民センター・郵便局・美容室・スーパー等



東京都公式アプリ「東京都防災アプリ」配信 「東京くらし防災」内容紹介



《はじめに》

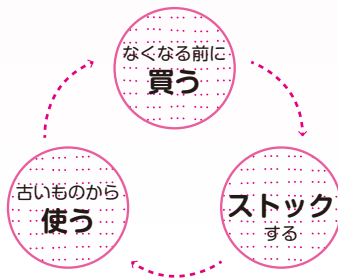
防災でいちばん大切なこと
それは、いのちを守ることです。
東京に大震災が来る、その日に備えて
何か行動をお越していますか？
都のアンケートにもみられるように、
「具体的な方法がわからない」
という理由で災害の
対策をしていない人も
いるのではないのでしょうか。
そんな人に防災をはじめてほしくて、
「東京くらし防災」は生まれました。
この本で伝えたいのは、
いつもの暮らしの中でできる防災です。
毎日の行動や習慣に
ちょっとした工夫や発想を加えるだけで、
防災が暮らしの中ではじまります。

《巻頭特集》

「いますぐできる! 15のこと」

- ①外出先では非常口を確認
- ②カーテンは閉めて寝る
- ③食器の重ね方を変えてみる
- ④包丁は使ったらしまう
- ⑤寝転んで、危険を探してみる
- ⑥日用品は多めに買い置きする
- ⑦行けるときに、トイレは済ませておく
- ⑧生理用品は、もう一周期分買っておく
- ⑨災害時の集合場所を決めておく
- ⑩公衆電話の使い方を子供に教えておく
- ⑪地域行事に参加してみる
- ⑫災害時のペットの預け先を探しておく
- ⑬ママバックは使った分だけ足しておく
- ⑭チョコレートやキャラメルをカバンに入れておく
- ⑮『東京くらし防災』を読んでみる

日常備蓄のやり方

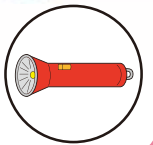


「日常備蓄」とは、
普段使っている物を
常に少し多めに備え
ること。特別な物を
備える必要はないの
で、すぐに取り組め
ます。

はじめやすい「日常備蓄」3ジャンル



—東京くらし防災より抜粋—



公明党 女性キャラバン隊

3月1日～8日「女性の健康週間」を記念して、
毎年テーマを設けて街頭遊説を行っています。
今年は、女性の視点をいかした
防災対策「東京くらし防災」についてお話しました。



お問合せ・ご意見・ご要望は
東口まさみ後援会

TEL/FAX **042-564-4630**

東大和市仲原 2-8-10